

January 4, 2021

【前日の為替概況】ポンドドル 1.3686ドルまで続伸、ユーロドルは 1.2209ドルまで反落

31日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは5営業日ぶりに反落。終値は1.2216ドルと前営業日NY終値(1.2298ドル)と比べて0.0082ドル程度のユーロ安水準だった。ユーロ豪ドルやユーロNZドルなどユーロクロスの下落につれたユーロ売り・ドル買いが先行。前日には欧州中央銀行(ECB)当局者からユーロ高けん制とも受け取れる発言が伝わっており、月末・年末を迎えたポジション調整目的の売りも優勢となった。目先サポートとして意識されていた前日の安値1.2247ドルを割り込むと下げ足を速めて、一時1.2209ドルまで下値を広げた。

なお、ユーロ豪ドルは一時1.5829豪ドルと約2年8カ月ぶりの安値を付けたほか、ユーロNZドルは1.6942NZドルと約10カ月ぶりの安値を更新した。ユーロポンドは一時0.8932ポンドまで下落した。

ドル円は3日ぶりに小反発。終値は103.25円と前営業日NY終値(103.19円)と比べて6銭程度のドル高水準だった。ユーロ円などクロス円の下落につれた円買い・ドル売りが先行し、0時30分前に一時103.00円と欧州序盤に付けた日通し安値に面合わせした。ただ、前日の安値102.96円や17日の安値102.88円などがサポートとして意識されるなか、103円を割り込むことはなかった。年末を迎えたロンドン16時(日本時間1時)のフィクシングに絡んだ円売りのフローも観測された。ドルがユーロやオセアニア通貨に対して買われたことも相場の支援材料となり、103.32円と日通し高値を付けた。

前週分の米新規失業保険申請件数は78.7万件と予想より強い結果となった。80万件を割り込むのは4週ぶり。

ユーロ円は下落。終値は126.18円と前営業日NY終値(126.91円)と比べて73銭程度のユーロ安水準。ユーロ全面安となった流れに沿って、5時前に一時126.08円と日通し安値を付けた。

ポンドドルはもみ合いだった。英国と欧州連合(EU)の自由貿易協定(FTA)が暫定発効し、関税発生による物流の大混乱は避けられることになった。これを受けて、欧州市場では一時1.3686ドルと2018年5月1日以来およそ2年8カ月ぶりの高値を付けた。ただ、NY市場に入ると、次第に動意が乏しい展開に。年末年始で休暇入りしている市場関係者が多く、積極的な取引は見送られた。

【本日の東京為替見通し】明日のジョージア州での決選投票控えて動意に乏しい展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、明日のジョージア州での米上院の決選投票を控えて動意に乏しい展開が予想される。

10時45分に発表される12月Caixin中国製造業購買担当者景気指数(PMI)の予想は54.8で、11月の54.9からの若干の悪化が見込まれている。昨年末に発表された12月中国製造業購買担当者景気指数(PMI)も51.9となり、11月の52.1から低下していたことで、中国の景気回復基調がやや鈍化していることを確認することになる。

米ジョージア州で明日5日に行われる上院議員選(2議席)の決選投票は、昨年の大統領選のように結果判明まで数日あるいは数週間かかる可能性があるとして報じられており、1月上旬の相場変動を抑える可能性に要警戒となる。現在共和党が50議席、民主党が48議席となっており、共和党が1議席以上確保した場合、ホワイトハウスはバイデン民主党大統領、上院は共和党多数派、下院は民主党多数派となり、昨年末のように、米上院共和党が2000ドルの個人給付増額案に反対したような構図が予想される。民主党が2議席を獲得して50議席となった場合、議長のアリス副大統領の1票で民主党が多数派となり、ブルーウェーブ(ホワイトハウス・上下院が民主党)となることで、増税によるニューヨーク株式市場の下落懸念というリスク回避要因、財政出動による米10年債利回り上昇というドル高要因などが錯綜することになる。

ドル円のオーダー状況は、上値には、103.40円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、103.50円にはドル売りオーダーが控えている。下値には、103.05円、103.00円、102.90円にドル買いオーダーが控えている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 09:00 ◎ 10-12月期シンガポール国内総生産（GDP）速報値（予想：前期比年率 1.3%）
- 10:45 ◎ 12月 Caixin 中国製造業購買担当者景気指数（PMI、予想：54.8）
- 16:00 ◇ 12月トルコ製造業購買担当者景気指数（PMI）
- 16:00 ◎ 12月トルコ消費者物価指数（CPI、予想：前月比 0.90% / 前年比 14.20%）
- 17:30 ◇ 12月スイス SVME 購買部協会景気指数（予想：54.0）
- 17:50 ◎ 12月仏製造業 PMI 改定値（予想：51.1）
- 17:55 ◎ 12月独製造業 PMI 改定値（予想：58.6）
- 18:00 ◎ 12月ユーロ圏製造業 PMI 改定値（予想：55.5）
- 18:30 ◎ 12月英製造業 PMI 改定値（予想：57.3）
- 18:30 ◇ 11月英消費者信用残高（予想：▲17億ポンド）
- 18:30 ◇ 11月英マネーサプライ M4
- 23:45 ◎ 12月米製造業 PMI 改定値（予想：56.3）
- 24:00 ◇ 11月米建設支出（予想：前月比 0.9%）
- 24:00 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演
- 24:00 ◎ ボスティック米アトランタ連銀総裁、パネルディスカッションに参加
- 5日 02:15 ◎ メスター米クリーブランド連銀総裁、講演
- ニュージーランド（新年翌日の振替休日）、ロシア（新年休暇）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

31日 10:38 ワイトマン独連銀総裁

「政府は中銀が永久に低金利を維持することを期待すべきではない」

「パンデミック時のドイツの債務負担は、2008年の金融危機時よりも小さいと予想」

「ウイルスの第2波が第1波よりも多くの経済的損害を与えるとは予想していない」

「パンデミックでの危機が終われば、ドイツ政府の緊急財政措置は終了しなければならない」

「2021年の独総選挙は、経済的救済措置を終了または延長する決定に何の役割も果たさないはずだ」

「金融政策の転換には時間がかかる場合がある」

「物価安定のために高金利を必要とする場合、ECBは公的債務返済費用を考慮しない」

「欧州中央銀行(ECB)が大量の国債を保有していることは、懸念材料」

31日 16:25 中国外務省報道官

「米海軍のミサイル駆逐艦による台湾海峡の通過に対して、断固として抗議する」

31日 20:14 欧州委員会

「米通商代表部が欧州連合(EU)産品に対する関税を引き上げると発表したことは、通商協議を難航させることになる」

31日 23:47 北朝鮮外交筋

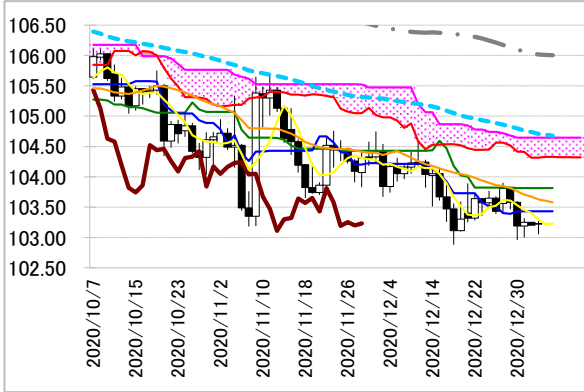
「米国と良い関係を築けることを望む」

1日 01:27 ポンペオ米国務長官

「水曜日に禁固刑を言い渡された香港の活動家10人の即時釈放を中国に求める」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

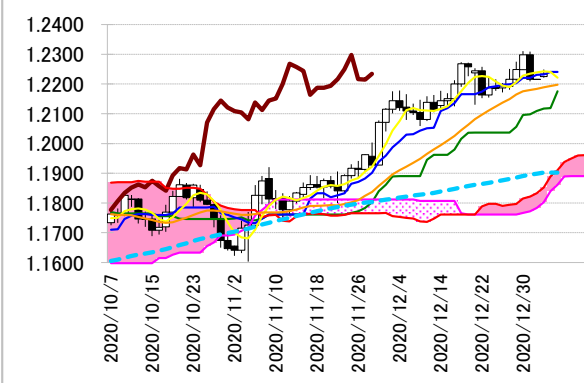


<ドル円=基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。小陽線で下げ渋っているものの、基準線や転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	103.82(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	103.25
サポート1	102.88(2020/12/17 安値)
サポート2	102.02(2020/3/10 安値)

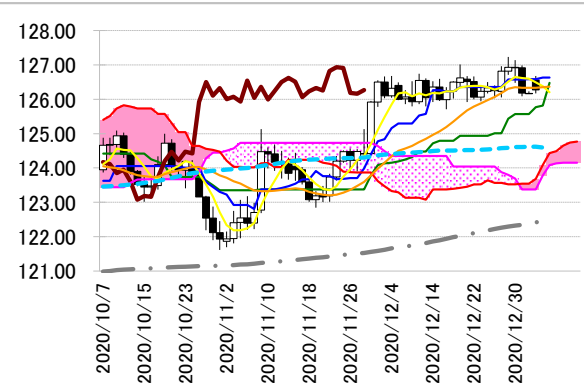


<ユーロドル=2020/12/30 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、高値圏での抱き線で反落し、転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、2020年12月30日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.2310(2020/12/30 高値)
前日終値	1.2216
サポート1	1.2117(日足一目均衡表・基準線)

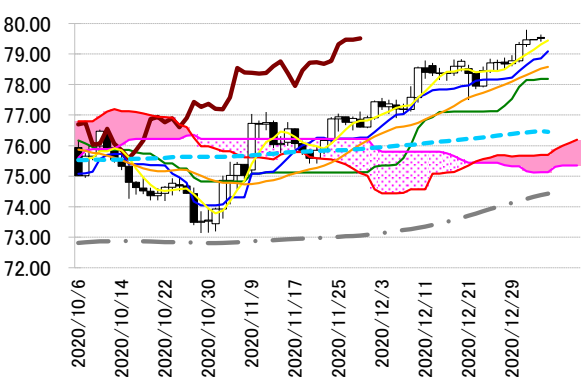


<ユーロ円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、高値圏での2手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	126.59(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	126.18
サポート1	125.77(日足一目均衡表・基準線)



<豪ドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。孕み線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	79.79(2020/12/31 高値)
前日終値	79.47
サポート1	78.85(日足一目均衡表・転換線)

